

北陸学院大学 AI リテラシープログラム

デジタル時代の「読み・書き・そろばん」である数理・AI・データサイエンスに関する教育課程について、文部科学大臣が認定する教育プログラムです。北陸学院大学では以下の教育課程を履修し、単位認定を受けることによって AI を正しく用いる能力や、AI にデータを提供する際の注意点など、Society5.0 を正しく生きていく上で必要な能力を身につけることを目標としています。

- リテラシーレベルにおいて身につけることができる能力
 - AI 利活用に関わる理解、データを扱うための知識、統計的な考え方や、統計解析の手法を学ぶ。これらを学ぶことにより、データサイエンス時代に対応できる知識と技術を身につける。

- 修了要件と履修方法
 - 「データサイエンス入門」（全学必修科目）を履修し、単位認定すること

- 科目構成
 - モデルカリキュラム対応表

モデルカリキュラム				実施回
導入	1. 社会におけるデータ・AI 利活用	1-1	社会で起きている変化	1
		1-2	社会で活用されているデータ	2
		1-3	データ・AI の活用領域	5
		1-4	データ・AI 利活用のための技術	6~8
		1-5	データ・AI 利活用の現場	9
		1-6	データ・AI 利活用の最新動向	10
基礎	2. データリテラシー	2-1	データを読む	12~13
		2-2	データを説明する	14
		2-3	データを扱う	15
心得	3. データ・AI 利活用における留意事項	3-1	データ・AI 利活用における留意事項	3~4
		3-2	データを守る上での留意事項	11

- 教授方法
 - ◇ 基本的に講義形式で実施する。
 - ◇ 15 回中 2 回反転学習と反転授業を取り入れ、学習効果を高める。
 - ◇ Google Classroom を用いて課題提供を行なう。授業終了時には Google Forms による振り返り課題を課す。

- 実施体制
 - MDASH 運営チームを組織し、数理データサイエンスに関連する学びを、本学に在籍する全ての学生に教授し、Society5.0 に対応できる人材を育成することを目的とする。
 - 本チームでは、定期的な科目内容の見直しや、実施方法の点検を行ない、時代に即した教授内容が提供されることを確認する。また評価方法や評価基準についても定期的な見直しを行なうことを目的とする。

- 自己点検・評価の結果
 - [2023 \(R5\) 年度 MDASH 自己点検評価報告書](#)
 - [2024 \(R6\) 年度 MDASH 自己点検評価報告書](#)

- 申請書類一式 (認定後公開予定)